



2017 年度

# 学校・部活動における重大事件 ・事故から学ぶ研修会

第1回 6月30日(金)17時30分～20時00分

日本体育大学 世田谷キャンパス記念講堂

## 日体生、そして本問題に関心を持って下さる方へ

南部 さおり（日本体育大学・准教授・スポーツ危機管理学研究室）

昨年度、本学で初めて本研修会を開催し、多くの方々にご参加頂き、大きな反響を頂きました。本研修会でご登壇頂く方々は、学校・部活動において大切なわが子を亡くしたり傷つけられたりした当事者です。いずれの方々も、自らが経験したような思いをする人を二度と出さないために、強い決意のもと、日体生に向き合い、自らの辛いご経験を伝える決意を下さっています。

当事者の生の声をじっくりと聴くことで、学校・部活動の事故が「不運」で「特殊」なものでは決してなく、誰にでも起こり得ること、そして、こうした事故は防ぐことができるということを、十分に知ることができると思います。どうか、被害者の声に耳を傾けて下さい。

### 第1回(6/30)ご登壇者

#### ①「滋賀県愛荘町立中学校柔道部 体罰・頭部外傷死事件」

柔道部練習で、中1の村川康嗣君（12歳）が、上級生たちとの2分間の乱取り練習を無制限に課された。15本目の後に異常行動が出現していたが、顧問はそのまま乱取りを続行。すでにフラフラの状態であった26本目の乱取りで顧問自ら、生徒を渾身の力で「大外返し」で投げ、そのまま意識消失。急性硬膜下血腫で死亡した。

講師：村川弘美

#### ②「大分県立竹田高校剣道部熱中症・暴行死事件」

猛暑の夏休みの剣道部練習中、顧問は、工藤剣太君（17歳）一人だけを「できていない」と残り、1時間以上水分補給をさせず、打ち込みをさせ続けた。その後、竹刀を落としたのに気付かず竹刀を構える明らかな異常行動を呈し、ふらふらと歩き出し壁に額を打ち付け倒れた剣太君に、顧問は馬乗りになり、「演技をするな」と何度も頬を平手打ちした。剣太君は嘔吐し、意識を失くしたため、ようやく顧問は救急要請したが、剣太君は熱中症で死亡した。

講師：工藤英士・奈美

※今年度の研修会は全4回開催し、開催日は10/13(金)、11/3(金・祝)、12/14(木)を予定しておりますが、プログラム等詳細が決まり次第お知らせします。

問合せ先：日本体育大学 総合スポーツ科学研究センター

TEL：03-5706-0931（担当：中嶋・國嶋）